

陳 情 及 び 研 修 報 告 書

代 表 者
林 田

令和 6 年 11 月 11 日

会 派 代 表 者 様

呉市議会議員

佐伯 航一郎
渡辺 一照

次のとおり陳情活動及び研修に参加したので報告します。

1. 陳情期日及び研修期日

令和 6 年 10 月 30 日（水），31 日（木）

2. 陳情項目及び研修項目

東京都 千代田区 寺田稔衆議院議員への陳情

秋田県 秋田市 中核市サミット 2024 in 秋田

3. 参加議員

渡辺 一照，佐伯 航一郎

4. 各調査項目の報告

陳情先及び研修先ごとに以下の通り報告する。

❖ 寺田稔衆議院議員への陳情

1. 日時・場所

令和6年10月30日（水）17時～17時45分

2. 対応者

寺田稔衆議院議員国会事務所 政策担当秘書 迫田誠氏

3. 陳情内容

衆議院第一議員会館に所在する寺田稔衆議院議員国会事務所へ訪問し、意見交換を含めて陳情をおこなった。寺田稔衆議院議員本人は用務のため不在であったため、代理で迫田誠政策担当秘書にご対応頂いた。意見交換・陳情の具体的な内容としては直近の衆議院議員総選挙の結果を受けて、国政や市政に与える影響について、日鉄呉跡地利活用や幸町地区総合整備など呉市の抱える諸課題についてなど意見交換をおこない、地元選出議員として引き続き呉市に対する必要な支援をお願いしたところである。

❖ 秋田県秋田市

1. 研修項目

中核市サミット2024 in 秋田

これからをつくる、これからを生きる

～中核市が創る「ひと・まち・くらし」の未来～

2. 調査日時・プログラム

日時：令和6年10月31日（木）12時50分～17時00分

会場：あきた芸術劇場 ミルハス

【プログラム】

オープニング	
開会式	
基調講演	「洋上風力発電によるカーボンニュートラルと地域振興」 【講師】 東京大学名誉教授／世界風力エネルギー学会副会長 荒川忠一 氏
パネルディスカッション	① 再生可能エネルギーが創るまちの未来 ② 芸術文化が創るまちの未来

全体会議	パネルディスカッション報告 サミット宣言 ほか
閉会式	

3. 研修内容

【基調講演】

「洋上風力発電によるカーボンニュートラルと地域振興」

【講師】 東京大学名誉教授／世界風力エネルギー学会副会長 荒川忠一 氏

風力発電は再生可能エネルギーのトップランナーである。現在無限の可能性があり経済性で魅力ある洋上風力に注目が集まっている。地域との連携、コミュニティパワー、シビックプライドなど、地域との共発展性を確実に進めると考えられる。その他にも部品等の調達など経済波及効果による地域経済の活性化、人材育成による雇用および人口増加による地域活性化も期待できるとする。

【パネルディスカッション】

① 再生可能エネルギーが創るまちの未来

＜コーディネーター＞

佐藤裕之氏 (株)ウェンティ・ジャパン 代表取締役社長

＜コメンテーター＞

荒川忠一氏 東京大学名誉教授／世界風力エネルギー学会副会長

＜パネリスト＞

尼崎市長、下関市長、秋田市長

2023 年に開催された「第 28 回気候変動枠組条約締約国会議（COP28）」において、2030 年までに世界の再生可能エネルギー容量を 3 倍とする目標が掲げられました。気候変動対策は欧州各国が先導する 状況にありますが、近年は、我が国においても、政府が取り組む再エネの 主力電源化や脱炭素に向けた民間セクターの動きが活発化しています。 こうした中、地方自治体においては、ゼロカーボンシティの実現に取り組むとともに、再エネの地産地消を進め、新たな産業や雇用の創出など経済の活性化を図ることが期待され、中核市は地域において主導的な役割 を担うことが求められています。 本パネルディスカッションでは、官民で脱炭素社会を目指す中、経済と 環境の好循環をいかに実現させるのか、また、地元の理解促進や地域共生 の取組など、中核

市の事例発表を踏まえて「再生可能エネルギーが創るまちの未来」について議論を深めます。（説明資料より）

② 芸術文化が創るまちの未来

<コーディネーター>

藤浩志氏 秋田公立美術大学 美術学部教授

<コメンテーター>

平田オリザ氏 芸術文化観光専門職大学 学長

<パネリスト>

八戸市長、水戸市長、金沢市長

我が国には地域ごとに多様な芸術文化が存在しています。地域ごとの特色を生かした芸術文化活動は、地域の観光振興や経済活性化等に寄与するほか、人々の心の豊かさやコミュニティの醸成につながるものであり、自治を支える基盤とも言えます。こうした中、地方自治体においては、地域の歴史や文化を生かした芸術文化政策の推進を通じて、地域資源を掘り下げ、市民とともにまちの魅力や価値(文化)の再発見と創造に取り組む必要があります。とりわけ中核市は、地域の核としてその中心的な役割を担うことが求められています。本パネルディスカッションでは、芸術文化の振興がいかに市民生活の向上に寄与するのか、また、芸術文化を生かした個性あるまちづくりなど、中核市の事例発表を踏まえて「芸術文化が創るまちの未来」について議論を深めます。（説明資料より）

4. 調査結果及び成果

基調講演の風力発電については今のところ呉市における展開を検討できる材料はないが、再生可能エネルギーとしての見識を深めることができた。

パネルディスカッションでは第二会場でおこなわれた「芸術文化が創るまちの未来」のテーマを拝聴した。八戸市、水戸市、金沢市の各自治体の芸術文化に特化させたまちづくりについて、説明紹介された。平田オリザ氏の解説によれば、芸術文化の振興は若者や女性にとって魅力的なまちとして重要な部分であるとのことである。今回のサミットをきっかけに呉市の芸術文化振興をより進化させていきたい。

以上